

青森県経済統計報告

平成 25 年 11 月 8 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 25 年 10 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,336,206 人（対前月 458 人減少）
自然動態	523 人減少（出生者数 750 人、死亡者数 1,273 人）
社会動態	65 人増加（転入者数 1,563 人、転出者数 1,498 人）

2 本県の経済動向（平成 25 年 8 月・9 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、生産面は横ばい傾向にあるほか、消費面に緩やかな持ち直しの動きがみられる。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 25 年 8 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年=100)は、季節調整済指数が 107.2 で、前月比 6.7%の上昇となり、2 カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 107.0 で、前年同月比 1.1%の上昇となり、4 カ月連続で前年同月を上回った。 … 2
- (2-2) 雇用情勢 平成 25 年 8 月の定期給与は 219,758 円で前年同月比 0.8%増となった。総実労働時間は 155.0 時間で前年同月比 0.3%減、所定外労働時間は 9.2 時間で前年同月比 4.2%減となった。平成 25 年 9 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.68 倍で、前月を 0.02 ポイント下回った。 … 3
- (2-3) 物 価 平成 25 年 9 月の青森市消費者物価指数（平成 22 年=100）は、総合指数が 100.4 となり、前月比 1.0%の上昇、前年同月比 1.6%の上昇となった。 … 4
- (2-4) 個人消費 ・平成 25 年 8 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 160 億 7,700 万円 で前年同月比 0.9%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは 1.4%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
・平成 25 年 9 月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比 10.9%減となり、5 カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は 4.4%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。
・平成 25 年 9 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 4,503 台で、前年同月比 12.0%増となり、9 カ月ぶりに前年同月を上回った。 … 5
- (2-5) 住宅建設 平成 25 年 9 月の新設住宅着工戸数は 668 戸で、前年同月比 6.0%増となり、7 カ月連続で前年同月を上回った。 … 6
- (2-6) 電 力 平成 25 年 9 月の大口電力使用量は 2 億 2342 万 kWh で、前年同月比 2.4% 使用量 減となり、20 カ月ぶりに前年同月を下回った。 … 6

（3）景気動向指数 C I（平成 25 年 8 月分）…………… 7

先行指数	117.1（前月を 2.2 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した）
一致指数	127.3（前月を 2.5 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した）
遅行指数	99.0（前月を 0.7 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した）

（4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 25 年 10 月期）…………… 8

- 3 カ月前と比べた景気の現状判断 D I ……51.5(前期比横ばい、3 期連続で 50 を上回る)
- 3 カ月後の景気の先行き判断 D I ……54.5(前期比 1.7 ポイント増、4 期連続で 50 を上回る)

1 青森県の推計人口（平成25年10月1日現在）

【概況】

平成25年10月1日現在の本県推計人口は、1,336,206人で、前月に比べ458人の減少となった。

○自然動態

出生者数が750人、死亡者数が1,273人で、523人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,563人、転出者数が1,498人で、65人の増加となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
23.10.1	1,363,038	640,662	722,376	-0.041%	-553	-443	781	1,224	-110	1,474	1,584
24.10.1	1,349,969	634,196	715,773	-0.041%	-554	-445	736	1,181	-109	1,382	1,491
24.11.1	1,349,295	633,891	715,404	-0.050%	-674	-756	814	1,570	82	1,606	1,524
24.12.1	1,348,616	633,609	715,007	-0.050%	-679	-690	750	1,440	11	1,158	1,147
25.1.1	1,347,650	633,189	714,461	-0.072%	-966	-807	742	1,549	-159	959	1,118
25.2.1	1,346,535	632,638	713,897	-0.083%	-1,115	-994	816	1,810	-121	1,010	1,131
25.3.1	1,345,439	632,089	713,350	-0.081%	-1,096	-822	655	1,477	-274	992	1,266
25.4.1	1,338,972	628,700	710,272	-0.481%	-6,467	-797	704	1,501	-5,670	3,440	9,110
25.5.1	1,339,044	628,822	710,222	0.005%	72	-690	768	1,458	762	4,085	3,323
25.6.1	1,338,181	628,322	709,859	-0.064%	-863	-634	794	1,428	-229	1,330	1,559
25.7.1	1,337,580	628,017	709,563	-0.045%	-601	-546	683	1,229	-55	1,218	1,273
25.8.1	1,337,098	627,880	709,218	-0.036%	-482	-488	813	1,301	6	1,760	1,754
25.9.1	1,336,664	627,695	708,969	-0.032%	-434	-508	781	1,289	74	1,854	1,780
25.10.1	1,336,206	627,579	708,627	-0.034%	-458	-523	750	1,273	65	1,563	1,498

9月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9	20.9	21.9	22.9	23.9	24.9	25.9	
自然動態	出生者数	1,040	986	942	940	765	905	807	810	781	736	750
	死亡者数	1,139	1,106	1,091	1,086	1,042	1,167	1,219	1,297	1,224	1,181	1,273
	自然増減数	-99	-120	-149	-146	-277	-262	-412	-487	-443	-445	-523
社会動態	県外からの転入者数	1,842	1,618	1,738	1,590	1,710	1,688	1,538	1,571	1,474	1,382	1,563
	県外への転出者数	2,082	2,012	2,131	1,872	2,020	1,828	1,678	1,493	1,584	1,491	1,498
	社会増減数	-240	-394	-393	-282	-310	-140	-140	78	-110	-109	65
増減数計	-339	-514	-542	-428	-587	-402	-552	-409	-553	-554	-458	

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成22年11月以降の人口は平成22年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

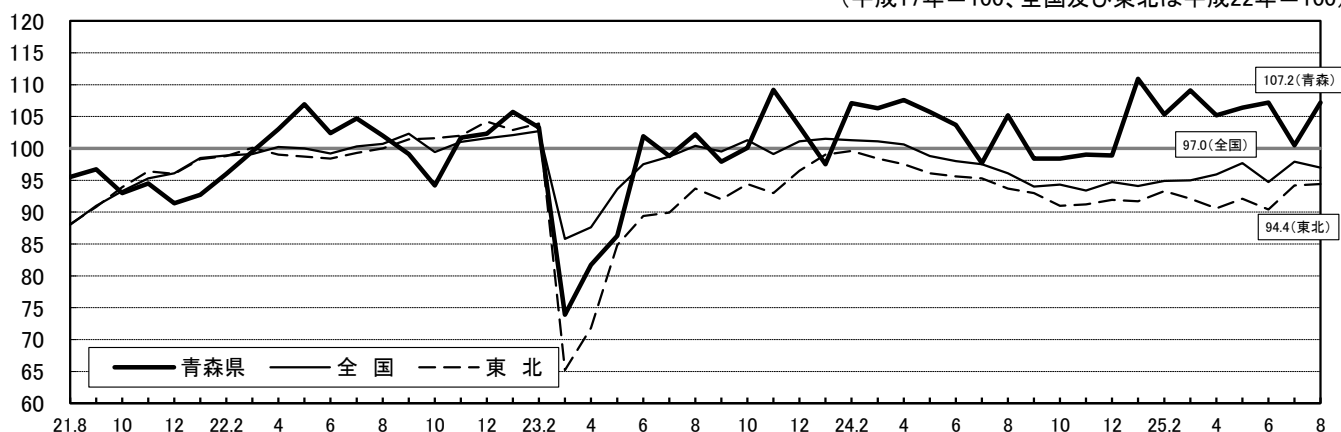
(2-1) 製造業の生産

平成25年8月の青森県鉱工業生産指数(平成17年=100)は、季節調整済指数が107.2で、前月比6.7%の上昇となり、2カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は107.0で、前年同月比1.1%の上昇となり、4カ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、電気機械工業、一般機械工業などが上昇に寄与した一方、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電子部品・デバイス工業などが低下し、鉱工業全体では6.7%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移 (季節調整済指数)

(平成17年=100、全国及び東北は平成22年=100)

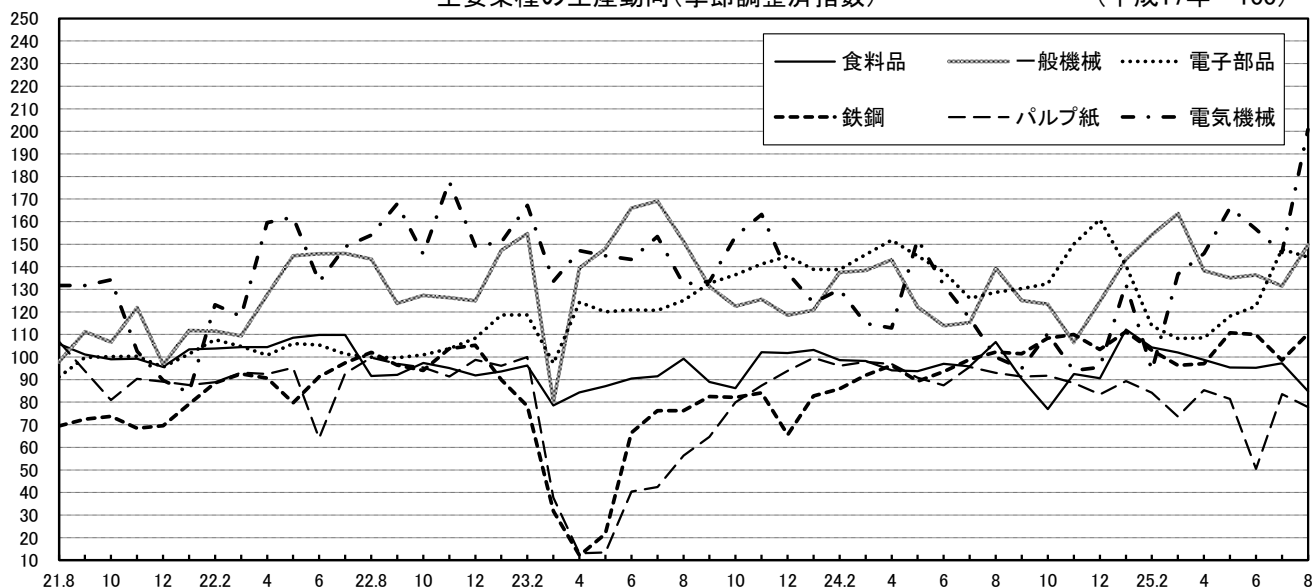


◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 6.7%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	429.6	64.0	食料品工業	-12.8	-37.0
電気機械工業	37.3	39.8	パルプ・紙・紙加工品工業	-6.9	-6.2
一般機械工業	13.8	30.1	電子部品・デバイス工業	-2.4	-5.1
鉄鋼業	11.8	15.5	プラスチック製品工業	-12.8	-1.6
精密機械工業	13.2	3.4	輸送機械工業	-24.4	-1.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成17年=100)



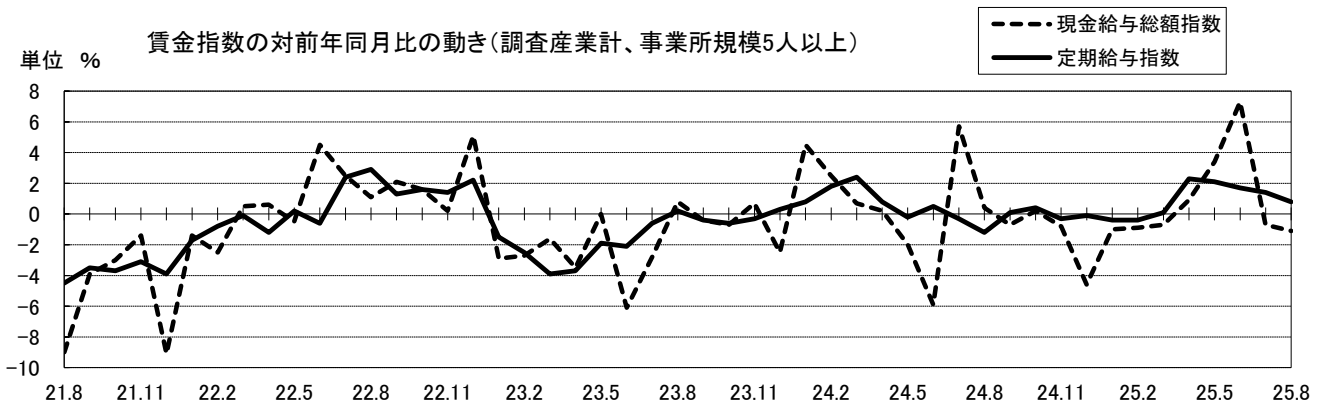
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成25年8月の定期給与は219,758円で定期給与指数(平成22年=100)では99.8となり、前年同月比0.8%増(現金給与総額232,813円、現金給与総額指数90.2、前年同月比1.1%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は85.8となった。

総実労働時間は155.0時間で、総実労働時間指数は100.3となり、前年同月比0.3%減となった。このうち、所定外労働時間は9.2時間で、所定外労働時間指数は101.1となり、前年同月比4.2%減となった。

平成25年9月の有効求人倍率(季節調整値)は0.68倍で、前月を0.02ポイント下回った。



賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

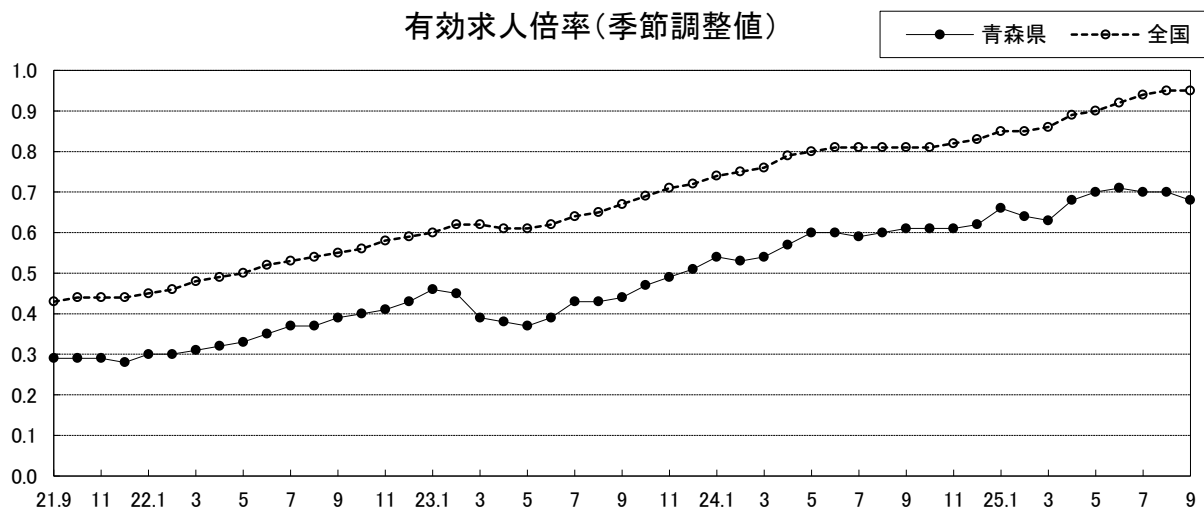
	実 数		指数(H22=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	232,813 円	271,231 円	90.2	85.6	-1.1 %	-0.9 %
定期給与	219,758 円	259,210 円	99.8	98.6	0.8 %	-0.4 %
特別給与	13,055 円	12,021 円	—	—	—	-9.2 %
総実労働時間	155.0 時間	143.5 時間	100.3	97.9	-0.3 %	-0.5 %
所定内労働時間	145.8 時間	133.2 時間	100.2	97.7	-0.1 %	-0.8 %
所定外労働時間	9.2 時間	10.3 時間	101.1	101.0	-4.2 %	4.0 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

3.平成22年1月分から、平成19年11月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果の公表をしている。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成25年9月の青森市消費者物価指数(平成22年=100)は、総合指数が100.4となり、前月と比べ1.0%の上昇、前年同月と比べ1.6%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月と比べ0.7%の上昇、前年同月と比べ1.0%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.6となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.2%の下落となった。

総合指数が前月と比べ1.0%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料、光熱・水道などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ1.6%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

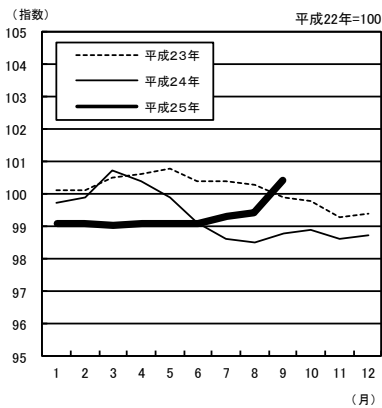


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

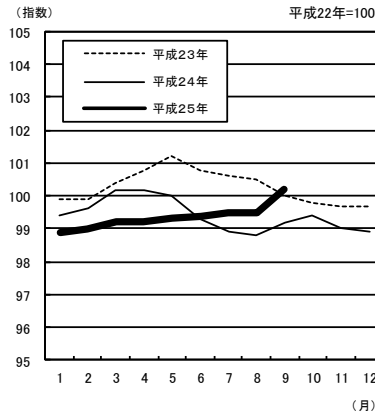
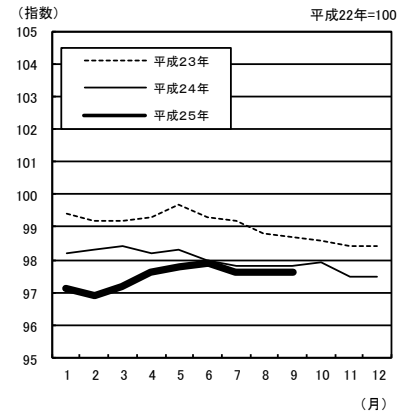


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成22年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家 賃を除く 総合	食料(酒類 を除く)及 びエネル ギーを除く 総合	食料	生食	鮮品	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被及履 服 物	保 医	健 療	交通・ 信 通	教 育	教 娛	養 楽	諸 雑 費
当月指数	100.4	100.2	100.9	97.6	98.7	105.2	98.2	117.0	88.5	101.6	97.8	104.4	96.8	91.5	104.0			
前月比 (%)	1.0	0.7	1.2	0.0	2.0	8.4	0.0	3.9	▲0.2	4.2	▲0.2	0.1	0.0	▲1.2	▲0.1			
寄与度	—	0.63	0.99	▲0.02	0.51	0.36	0.01	0.43	0.00	0.15	▲0.01	0.02	0.00	▲0.01	▲0.01			
前年 同月比 (%)	1.6	1.0	1.9	▲0.2	2.2	15.4	0.1	8.2	▲4.6	0.2	▲1.6	2.8	0.1	▲0.4	0.1			
寄与度	—	0.97	1.60	▲0.14	0.56	0.62	0.02	0.87	▲0.15	0.01	▲0.07	0.37	0.00	▲0.04	0.01			

資料：県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

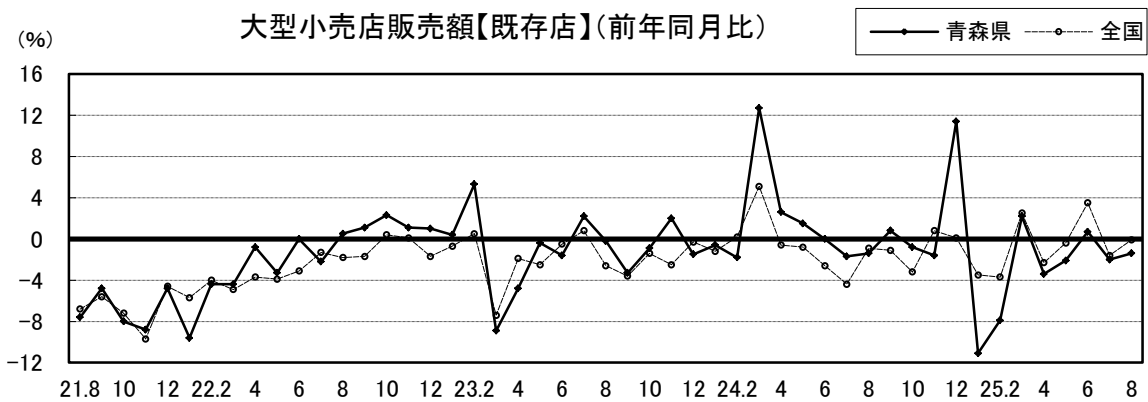
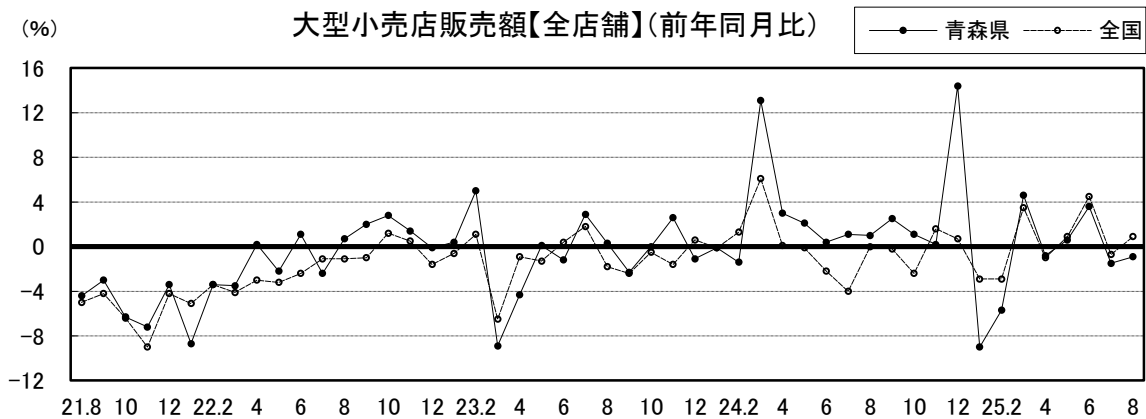
本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

平成25年8月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが160億7,700万円で前年同月比0.9%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは1.4%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。

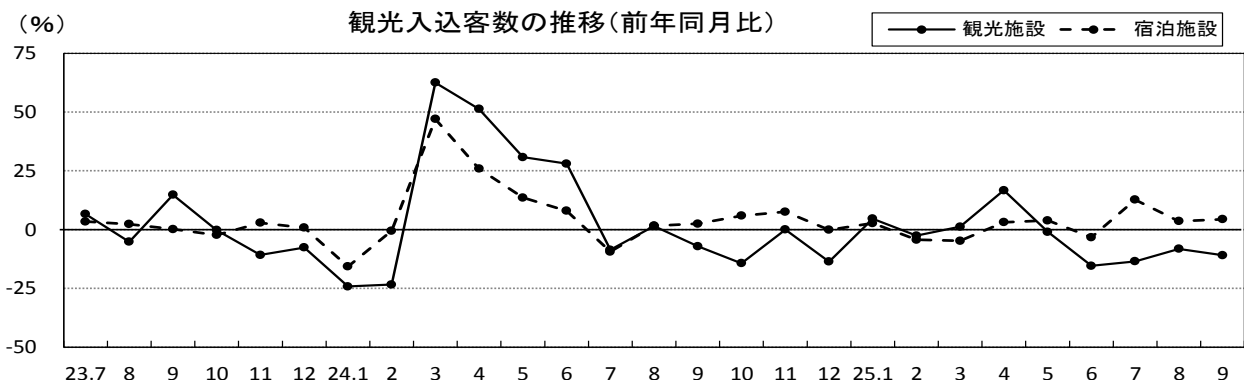
平成25年9月の観光入込客数は、主な観光施設が前年同月比10.9%減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は4.4%増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、弘前市、八戸市などの施設で減少し、宿泊施設は弘前市、八戸市、十和田湖畔、むつ市で増加したことによる。

平成25年9月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,503台で、前年同月比12.0%増となり、9カ月ぶりに前年同月を上回った。軽自動車が増加したことによる。



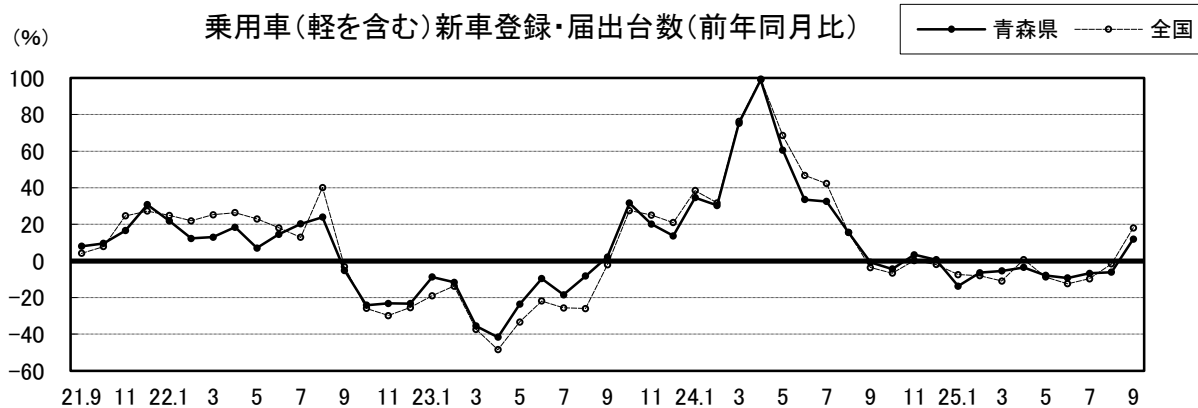
資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

- * 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。
- そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：県観光企画課「月例観光統計」

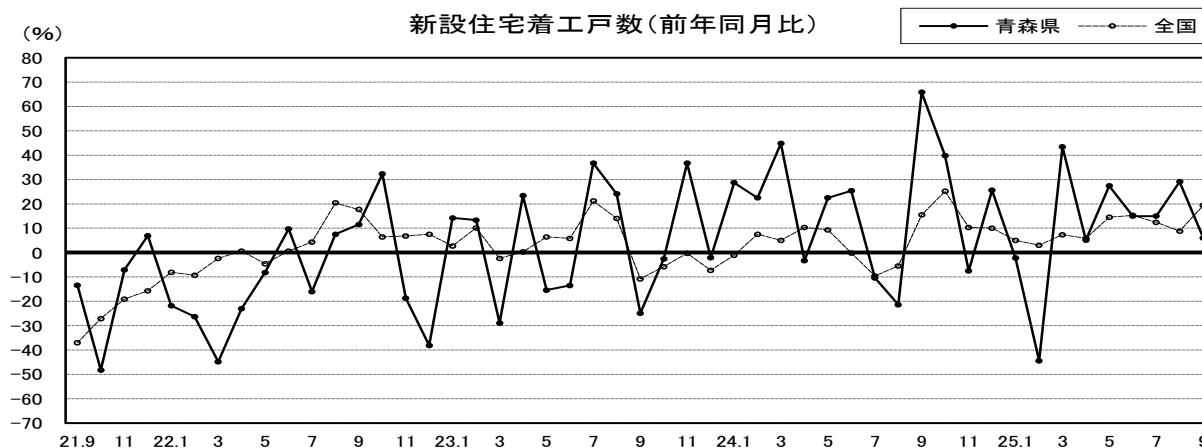
※観光施設36施設（H23年は34施設対比）、宿泊施設60施設（H23年は56施設対比、H24年は52施設対比、H25年1～3月は57施設対比）



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

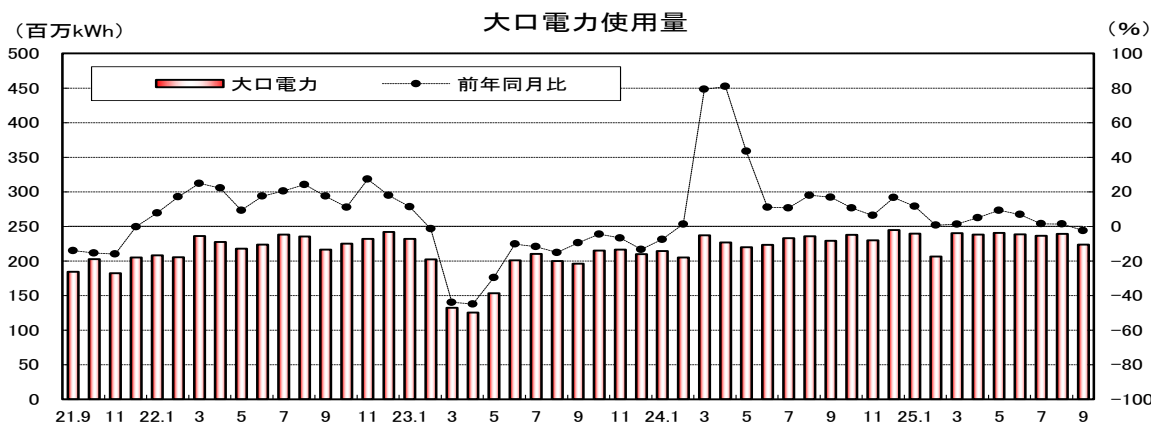
平成25年9月の新設住宅着工戸数は668戸で、前年同月比6.0%増となり7カ月連続で前年同月を上回った。持家、貸家等が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 電力使用量

平成25年9月の大口電力使用量は2億2342万kWhで、前年同月比2.4%減(一昨年同月比14.1%増)となり、20カ月ぶりに前年同月を下回った。製造業などが減少したことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

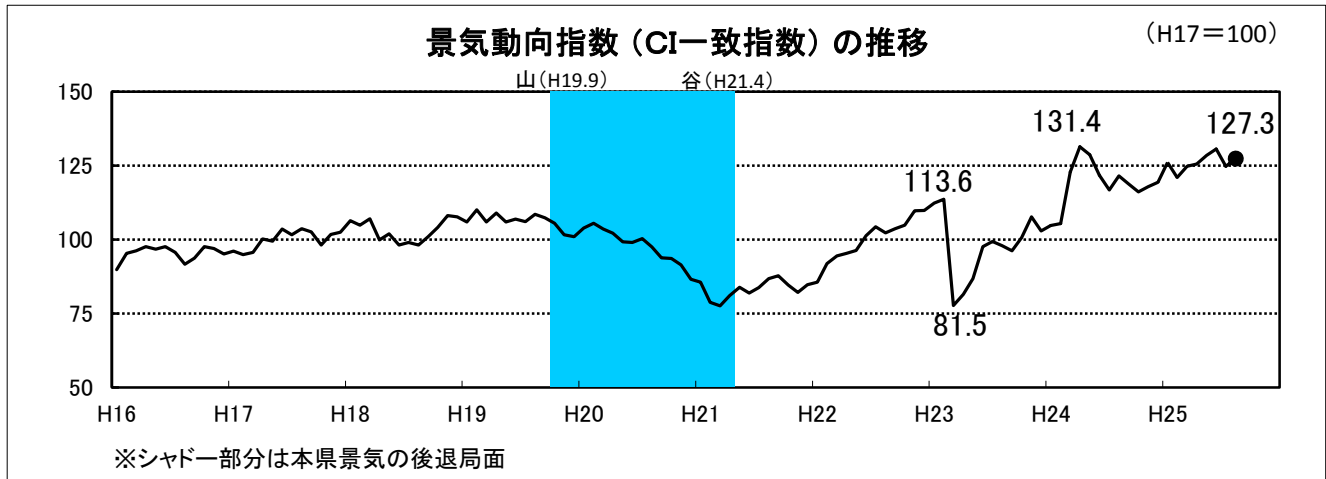
平成25年8月の青森県景気動向指数(CI)は、先行指数 117.1、一致指数 127.3、遅行指数 99.0 となった。

先行指数は、前月を 2.2 ポイント下回り、2カ月連続で下降した。

一致指数は、前月を 2.5 ポイント上回り、2カ月ぶりに上昇した。

遅行指数は、前月を 0.7 ポイント下回り、2カ月連続で下降した。

8月の一致指数は、消費・生産・物流関連等の指標がプラスになったことから、上昇した。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています)

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
企業倒産件数	3.69	4か月ぶり	中小企業景況DI	-5.45	4か月ぶり
新設住宅着工床面積	1.32	3か月ぶり	新規求人倍率(全数)	-3.03	2か月連続
所定外労働時間指数(全産業)	1.31	2か月ぶり	生産財生産指数	-0.51	4か月ぶり
乗用車新車登録届出台数	0.15	2か月連続	建築着工床面積	-0.01	3か月ぶり
一致系列					
鉱工業生産指数	1.90	2か月ぶり	有効求人倍率(全数)	-0.34	2か月連続
大口電力使用量	1.04	2か月ぶり	旅行取扱高	-0.28	2か月ぶり
大型小売店販売額(既存店)	0.21	2か月ぶり	東北自動車道IC利用台数	-0.03	3か月連続
輸入通関実績(八戸港)	0.02	2か月ぶり			
遅行系列					
りんご消費地市場価格	0.70	2か月ぶり	公共工事請負金額	-1.46	2か月ぶり
青森市消費者物価指数(総合)	0.47	5か月連続	家計消費支出(勤労者世帯:実質)	-0.76	3か月連続
現金給与総額(全産業)	0.17	2か月ぶり	常用雇用指数(全産業)	-0.14	2か月連続
県内金融機関貸出残高	0.14	2か月連続			

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数(DI)		
先行指数	43.8%	(9か月ぶりに50%を下回った)
一致指数	42.9%	(7か月ぶりに50%を下回った)
遅行指数	57.1%	(4か月連続で50%を上回った)

(4) 青森県景気ウォッチャー調査 (平成25年10月期)

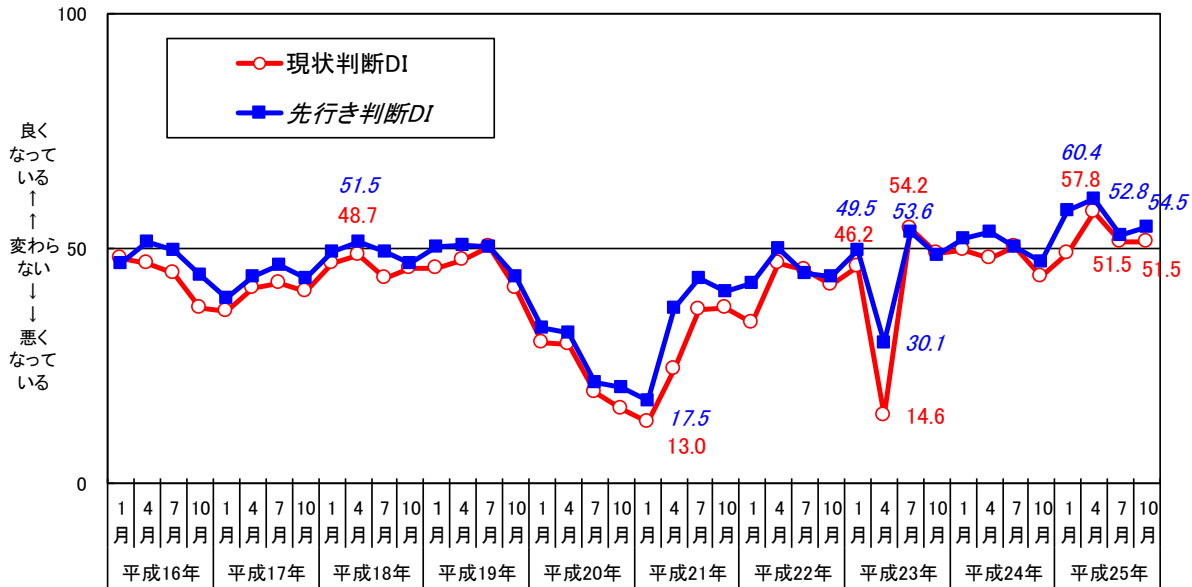
3カ月前と比べた景気の現状判断DIは、前期調査と比べて横ばいの51.5となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で上回った。

3カ月後の景気の先行き判断DIは、前期調査と比べて1.7ポイント増加の54.5となり、景気の横ばいを示す50を4期連続で上回った。

現状判断が3期連続、先行き判断が4期連続でそれぞれ50を上回ったのは、平成13年10月の調査の本格開始以降、初めてとなった。

(調査期間 平成25年10月1日～10月11日 回答率 100%)

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



● 3カ月前と比べた景気の現状判断

動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント増加、「やや良くなっている」が2.0ポイント減少、「変わらない」が横ばい、「やや悪くなっている」が2.0ポイント増加、「悪くなっている」が1.0ポイント減少したことにより、全体では前期調査と同じく51.5となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で上回った。

判断理由では、燃料、電気料金や原材料費などの物価上昇による収益悪化のほか、夏場の天候不順による夏物衣料や飲料などの売上不振といったマイナス面をあげる声があった一方で、主に住宅建設販売、設計事務所や乗用車販売を中心に、消費税増税前の駆け込み需要による業績アップをあげる声があった。

地区別では、前期調査と比べて、東青、下北地区で増加、県南地区で横ばい、津軽地区で減少した。全地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

● 3カ月後の景気の先行き判断

動向

前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント減少、「やや良くなる」が12.0ポイント増加、「変わらない」が11.0ポイント減少、「やや悪くなる」が3.0ポイント減少、「悪くなる」が3.0ポイント増加したことにより、全体では1.7ポイント増加の54.5と、景気の横ばいを示す50を4期連続で上回った。

判断理由では、前回調査から引き続いて消費税増税や生活必需品の物価上昇による節約志向への懸念のほか、住宅建設販売では(消費税5%が適用される期限である)9月の契約完了後の反動減をあげる声があったものの、秋の観光シーズンや年末年始に向けた消費増加、消費税増税前の駆け込み需要、暖房器具やタイヤなど冬物商品による売上増を見込む声があった。

地区別では、前期調査と比べて、津軽地区で4.1ポイント減少し、4期ぶりに50を下回ったものの、その他の地区では、前期に引き続き景気の横ばいを示す50を上回った。

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

● 3カ月前と比べた景気の現状判断理由

- ◎ 消費税増税前の駆け込み需要が非常に多かった。通常の3～4倍の獲得だった。(住宅建設販売・東青)
- 市内建設各社は、春先以降、まんべんなく仕事を受注、協力業者など、広範囲に経済稼働している。(設計事務所・東青)
- (消費税)増税前の駆け込み需要が徐々に感じられる。(乗用車販売・津軽)
- 求人を出しても人が集まらない。(電気機械製造・県南)
- 住宅建築が堅調の様子から。(新聞求人広告・東青)
- 売上も前年並みで、安定しているといえれば聞こえはいいが、電気料金等経費が増加しており、利益の確保に四苦八苦している。(都市型ホテル・東青)
- 客単価が低い傾向が続いている。(観光型ホテル・旅館・津軽)
- 7月、8月と夏物衣料が伸び悩み、前年割れとなっていました。(衣料専門店・県南)
- 若干の上向き感はあるが、マインド的なもので、実際には伸びている業種とそうではない業種があり、トータルではあまり変化がない。(広告・デザイン・東青)
- 電気業界で売れているものはスマートフォンですが、部品の価格が下落しており、部品メーカーでは利益が出ない状況が続いています。(電気機械製造・津軽)
- 採用活動をしている会社は多くなったが、人材を求めるボーダーは低くなっておらず、大きな雇用改善までには至っていないとみえる。(人材派遣・東青)
- △ 8月の繁忙期も売上が低迷、9月もほとんど残暑もなく、飲料水、ビール類が低迷。(卸売業・東青)
- △ 目的買いが少ない。買上点数、客単価も下がっており、依然として消費は冷え込んでいると感じる。(百貨店・津軽)
- △ 天候の影響を受けて景気は回復できていない。来店客数、平均単価は前年を割り込んでいる。(スーパー・県南)
- × 人の動きが少なく、前にも増して静かである。(スナック・津軽)

● 3カ月後の景気の先行き判断理由

- ◎ これから需要の高まる暖房関連やスタッドレスタイヤ等、単価の大きい商品が動く。また、消費税アップに伴う消費者心理に期待。(家電量販店・東青)
- 紅葉シーズンに突入し、自然豊かな青森県へリラックスしにいらっしやると思う。(観光名所等・東青)
- 3月末までは駆け込みにより消費が拡大されていくと思うが、その後の反動が怖い。(乗用車販売・津軽)
- 前回(5%)、前々回(3%)、消費税導入前には3カ月前くらいから何もしなくても売上が2ケタ伸びた。現在、すでに住宅、自動車等の単価の高いものから動きが出ている。(一般小売店・県南)
- 今後、3カ月先となると、年末年始を迎える。また、消費税増税(4月)を控えて、一時的に消費動向は上向くと考える。また、百貨店やスーパーにおいても増税前での売出し強化を図る等、業況は良くなると予想できる。(百貨店・県南)
- 消費税増税を控え、年末ボーナスは消費に向かう割合が増えるのではないかと。しかし、生活必需品の物価上昇が続くとみられるので、多くは期待できない。(経営コンサルタント・東青)
- 経済対策効果が肌で感じられない。地方で実感できるのはいつのことになるのか。(都市型ホテル・東青)
- 低価格商品は伸びると思うが、中間及び高価格商品が売れず、トータルでトントンか少し低迷か。(卸売業・東青)
- 消費税8%になると発表されましたが、以前より周知しており、覚悟ができていますので、変化がないのでは。高額な買い物には少し影響が出るかもしれません。(美容院・県南)
- 円安による値上げ、消費税の増税の確定により、心理的に冷え込んだままでこのまま行くと思う。(タクシー・津軽)
- 冬場に向けて観光客も減り、また、忘新年会も年々減少の傾向にある。(都市型ホテル・下北)
- △ 消費税増税が確定し、9月契約完了に伴い、今後落ち込んだり、長期的に検討してしまう顧客が増加すると思われるため。(住宅建設販売・東青)
- × 来春からの消費税3%上げで節約ムードが高まると思うから。電気料値上げや牛乳、小麦製品の値上げも家計には打撃で、消費が落ち込む懸念から。(新聞社求人広告・津軽)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」